

(様式第4号)

## 上田市図書館協議会 会議概要

1 審議会名	上田市図書館協議会
2 日時	令和5年5月25日(木) 午後6時30分から午後8時20分まで
3 会場	上田情報ライブラリー セミナールーム
4 出席者	中村会長、大井副会長、荒木委員、甲田委員、小林委員、小林委員、内山委員
5 市側出席者	佐藤上田図書館長、金田上田情報ライブラリー館長、高橋上田図書館係長、赤地上田図書館係長、和田上田情報ライブラリー次長、藤森丸子図書館次長、菊地真田図書館次長
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 1人
8 会議概要作成年月日	令和5年6月2日

### 協議事項等

1 開 会
2 あいさつ(上田図書館長)
3 委嘱状の交付 上田図書館長から委嘱状の交付と図書館協議会についての説明をする。
4 自己紹介 図書館協議会委員自己紹介及び事務局職員自己紹介
5 会長、副会長の選出 会長、副会長の選出について意見を求めたが、委員から意見がなかったため、事務局案を申し上げる。会長は中村委員に、副会長は大井委員にということでした承される。
6 会長、副会長あいさつ (中村会長) 上田情報ライブラリーを拠点に上田図書館クラブで情報サービスや文化活動をしている。図書館利用者が増えてほしいと思いながら努めたい。 (大井副会長) 新しい図書館が早くできることを期待している。
7 協議事項 (1) 令和4年度事業実績報告について ・令和4年度事業実績報告について、資料に沿って各館から概要を説明 ・以降、協議 (委員) 丸子図書館は、年間の貸出冊数が多いが、多くするような施策はしているのか。 (事務局) 保育園などの施設の方の利用が多い。また、情報提供として毎月テーマ本の展示をしたり、有線放送や丸子テレビを利用してPRしたりしていることが繋がっていると思われる。 (委員) 丸子図書館の利用は、丸子地域の住民だけではないですね。 (事務局) 塩田地域の方や大屋地域の方にも多く利用していただいている。 (委員) 有線放送でどのようなPRをしているのか。 (事務局) 月に1回、ライブラリーアワーという時間を取っていただき、新刊本の紹介や特設展示の紹介、イベントの紹介等をしている。 (委員) 有線放送の加入者は多いのか。 (事務局) 昔に比べると減っているが、有線放送を聞いて来館したという人もいます。 (委員) 丸子テレビは誰でも見られるのか。 (事務局) 丸子地域の加入者がメインとなるが、聞いたところによると上田ケーブルビジョンの加入者も手続きをすると丸子テレビの放映が見られるようだ。 (委員) 令和4年度の貸出冊数が減っているが、原因は何だと考えられるか。 (事務局) コロナの影響が大きいと思っている。昨年は、第7派、第8派と物凄い数の人がコロナに感染した。その頃から来館者数が少なくなったと感じた。例年は、夏休みは非常に混雑するが、昨年はそうでもなかった。また、秋から冬にかけても感染者増え、図書館が閑散としていて、読書の秋という感じがしなかった。

(委員) コロナは大きな出来事だったと思うが、その影響や対策について、今後に生かすようにまとめることは考えているか。

(事務局) 対策として、昨年度の広報うえだ2月号で図書館の特集記事をくみ、宣伝をした。その後、しばらくの間は利用者が増えたが、また少しすると減ってきたので、何か手を打たないと利用者は増えてこないと思っている。

(委員) こういう対策を取って、こういう結果が出たとか、こういうところはうまくいったが、こういうところが失敗だったとか、コロナについて上田市の図書館の対策のまとめをしてほしい。利用制限等、図書館史上初めてのことで、結構大きな出来事だった。またこれからあるかもしれないので、まとめてもらおうと今後を生かせると思う。

(事務局) 初めての経験で、どんな状況で、どんな対策を取ったかまとめることは大切だと思うので、検討させていただく。

(委員) 調査相談の件数が、各館とも年度を追うごとに減少しているが、どんな要素があって減少しているのか。

(事務局) 明確な原因は不明だが、コロナで来館者数が減ったこともあるし、統計を取るため記録しているが、記録漏れもあると思われる。

(委員) 情報ライブラリーに「つつじ」という喫茶店があり、以前は高齢の方が毎日のように来てくれたが、コロナ以降、ほとんど見えなくなった。出歩くことが少なくなった。それも来館者が減っている原因になっている。

(委員) 丸子図書館は新刊が入ったときに有線放送等で紹介しているということだが、上田図書館の場合、新刊本が多数あるが、来館すれば分かるが、来館しないでどういう本が入ったか分かる方法はあるのか。

(事務局) 新刊に特化した情報は流していない。上田図書館の場合、膨大な数になるので、紹介するにしてもどんな方法でするのか検討しないといけない。

(委員) 全てでなくても一部だけでも紹介できないか。テレビや広報で紹介してもいいと思う。

(事務局) 膨大な数の新刊の中でどれをセレクトするか、また、入ってくる時期が書店と比べると遅いし、どういうメディアを通じて流すのかが課題となる。上田市の公式LINEも始まったので検討している。

(委員) 広報に載せると結構見てもらえる。市のメール配信に新刊本を載せるとインパクトがあるのではないか。

(委員) ホームページよりツイッターの方が見ると思う。

(委員) ホームページに新刊本の記載がない。

(事務局) エコールのホームページの蔵書検索のところで新刊本を見ることができる。ただ、図書館毎にはなっていない。

(委員) 新刊本の案内を考えてやってみることを検討してほしい。

(事務局) 検討してみる。

(委員) 選書はどのようにやっているのか。

(事務局) 各図書館に選書方針がある。選書方針に基づき、図書館流通センターから毎月届く新刊本の情報を参考にしたり、選書する職員も新聞や雑誌の情報を参考にしたりして選書している。また、利用者のリクエストも選書の対象にしている。

## (2) 令和5年度事業計画について

- ・令和5年度事業計画について、資料に沿い概要を説明
- ・以降、協議

(委員) 電子図書館の利用は、若い人達はどうか。

(事務局) 30代、40代、50代の方達で60%位占めている。10代は、あまり登録されていない。学校単位で電子図書館を利用できるような取り組みをしていけるように県や他の市町村と協議している。ただ、学校は担任の先生のお考えがあるので、授業で使ってもらえるようにPRしていきたい。

- (委員) スマホだと画面が小さいが、それでも読みやすいのか。
- (委員) 本によって違う。本を借りた時に、タブレットやパソコンのような大きな画面で見ると向いていると表示される。
- (事務局) 写真が載っているような本は、大きな画面が向いている。本によって、文字の大きさを調節出来るものもある。
- (事務局) 体験コーナーでは、パソコンで試し読みが出来るので、利用してほしい。
- (委員) デジとしょには、あまり読みたい本が無い。新刊本でどんな本が入ってきているのかどんどん紹介してほしい。
- (委員) 電子図書は、7日間しか借りられないので不便に感じている。読み終わらないのに、忘れてると自動的に返却されている。どうして7日間と決まったのか。
- (事務局) 2冊だけなので7日位でいいと決まったと思う。返す前なら延長できる。エコールは3週間なので1週間は短いかもしれない。
- (事務局) 貸出の期間が短いという意見は、デジとしょの会議の中で伝えたい。
- (委員) 電子図書の値段は高いのか。
- (事務局) 図書館で貸し出しできるためのライセンスの取得なので、紙の本よりは高い。2倍位の本もある。
- (委員) 値段が高額なのが普及を妨げているとなれば、ライセンスを出す方も値段を下げた方がビジネスとして有利なような気がする。
- (事務局) それもデジとしょの会議で聞いてみる。
- (委員) 以前、テレビで見たが、東京の図書館職員が大々的に使い方をマイクを持って説明していた。東京なので人がたくさんいた。体験コーナーで使い方を説明するのはいいと思う。高齢の方は躊躇してしまうが、今は、ほとんどの方がスマホを持っているので、使い方が分かればいくらかでも見ることができる。
- (委員) 体験コーナーのツールは、パソコン、タブレット、スマホといろいろあるが、高齢の方は、パソコンで説明されたものを今度、自分でスマホでやろうとしても戸惑ってしまう。だから、自分の持っているツールで見られるように体験させてくれるのか。
- (事務局) 基本的には、パソコンだけになる。
- (委員) スマホだけしかもっていない人に、スマホの使い方を教えてもらえるのか。
- (事務局) 職員に尋ねてもらえば、簡単なことは教えられる。
- (委員) 60歳以上の方に図書館を利用してもらえるような考えはあるか。車を運転できなくなり図書館に行かなくなった方でも本を読みたい方はたくさんいる。そういう方のために、何か方策は考えているか。
- (事務局) 移動図書館を利用してもらいたい。
- (委員) 移動図書館といっても場所がそんなに多いわけではない。
- (事務局) 上田・真田地域で65か所巡回している。
- (委員) 旧市街地にもあるか。
- (事務局) 城北地域や三中の方にある。ただ、本当の街の中はない。
- (委員) 街の中でも図書館まで行かれない人が結構いると思う。移動図書館の駐停車場所まで近い人はいいが、距離がある人は、そこまで行くのに大変だ。運転できなければ家にこもってしまう。そういう人にも目を向けてほしい。
- (委員) 移動図書館車巡回の頻度と時間だが、期間はどの位の間隔で行くのか。
- (事務局) 1カ月に1回となる。
- (委員) 1カ月に1回で、15分位しか止まっていないので短いと思う。
- (委員) そのためにもデジとしょを推進してほしい。
- (委員) 本の宅配をやってもらおうとありがたい。郵送料は個人負担でもいいと思う。
- (事務局) 色々と課題があるので、宅配をしている図書館の状況を聞きながら研究させていただく。
- (委員) 塩田公民館では本を借りられるようになっているが、そういうふうに各公民館で貸出しできればいい。

- (委員) 好きな時にいつでも借りられるようになってほしい。
- (委員) 県立長野図書館で本を借りて返す時に、わざわざ長野まで行くのは大変だから、上田で返す場所があるかと職員に尋ねたら、あるけれども手続きが面倒なようだ。だからこれからは、電子図書のように実体がない本を借りて、返しにいく手間もかからないというような方向を目指した方がいいと思う。
- (事務局) 人によってデジとしよを使えない人、また先ほどの話で移動図書館の駐停車場所まで行かない人とか色々なパターンがあるので、全ての人が電子図書館で解決するわけでもないが、一つの方法として県全体で始めているので今年度は利用促進しようということにした。ただ他にも色々問題があるので、それはまた図書館全体で考えていきたい。また、今のような提案は、していただきたい。
- (委員) 小中学校のエコールでの貸し出しを増やすとあるが、子ども達は借りる冊数に制限があるのか。
- (事務局) 生徒から直接予約が入るのではなく、学校図書館から予約が入るので、制限があるのかは不明だ。
- (委員) 学校司書の仕事量の関係で、そんなにたくさんは受け付けられないと思うが、それはアンケートをとってもらえば分かると思う。学校司書は、図書館の仕事だけしていればいいというものでもないし、勤務時間も短いので、貸出しを増やすのは大変かもしれない。
- (委員) 学校司書と公共図書館との連絡会議は定期的に行っているのか。
- (事務局) 定期的に行っている。先日も学校司書連絡会議を学校教育課主催で行った。図書館側からエコール端末の使い方の説明をして、後半は学校司書どうして情報共有や相談等をした。
- (委員) 会議の開催頻度はどのくらいか。
- (事務局) 学校教育課が主催となるが、全員集める場合や代表者 10 名だけ集める場合、あとは研修会を開催したりしている。また詳細を把握してお伝えしたい。
- (委員) 他市町村の図書館では、年度初めに学校図書館へ出かけてオリエンテーションをしているところもある。以前は、公共図書館と学校図書館がネットワークで結ばれていることが珍しかった。学校の予算が少ないから、公共図書館から借りられることは学校司書もうれしいことだと思うが、エコールシステムの使い方を学校へ出向いて教えることはできないか。
- (事務局) 先日の連絡会議でシステムの使い方の説明をしたが、学校司書達は結構分かっているように見えた。
- (事務局) システムを保守管理している行政情報処理センターの職員が、新しくなった学校司書の所に出向いて使い方の指導をしている。また、地区ごとにリーダーがいて、そのリーダーに教えてもらったりしていて、そういう体制をとっている。公共図書館には、個別に学校司書から相談が来て対応している。今の公共図書館の職員体制からして、各学校に出向いて教えていくのは難しいと思う。
- (委員) 機器の使い方ではなくて、こういう本があるという紹介をするという意味で、オリエンテーションすることが出来ないか。本の紹介をして、興味のある本を 1 冊だけでなく、何冊も借りることができると教えてあげれば貸出冊数も増えてくると思う。
- (事務局) 学校司書にアンケートをとって、手がかりを掴んでいきたい。アンケートの中で、今の話のことも盛り込んで、どんな要望があるか把握して検討していきたい。
- (委員) 学校で調べる学習が出ているが、調べる対象は学校図書館の本の利用ということか。公共図書館の本でもいいのか。
- (事務局) 以前、地域の図書館を使って調べ学習をしようという課題が出ているということで来館した児童がいたので、調べ学習用のスペースで調べてもらったことがあった。
- (委員) 何年か前に、情報ライブラリーでも調べる学習をやったことがあった。子ども達が来て新聞を作ったりしていた。だから、調べる学習は、公共図書館でもいいんだよね。それには子ども達にエコールのキーワード検索の仕方を教えてほしい。公共図書館の司書を通じて教えてほしい。

(委員) デジとしょで「利用登録数と貸出数が低調な推移となっていることから」とあるが、それは、最初は皆さん期待していたが、やってみたらそうでもなかったとかで使うのを止めてしまったのか。そうすると事業の周知を図っても、利用者の満足度を上げられないと改善できないので、この辺はどうなのか。利用者によってどうして止めたのか聞いてみることは出来ないのか。

(事務局) 誰が使っていないかということ調べることはできない。プライバシーの問題でもあるし、そういう情報をとれるかどうか不明である。

(委員) 個人的に、最初は何回も利用したが、先ほども言ったが、つい忘れてしまうともう返却されている。だから離れた時期もあった。

(事務局) そういったところは改善する努力はする。最初のうちはいいが、暫くすると何でも低調になってくる。体験コーナーを作ったり、ちらし等で周知したりして登録してもらえようようにしたい。

(事務局) 期間が短いということもあるし、読みたい本がないということも低調な理由かもしれない。

(委員) 自分はそういう噂を聞いていたので最初からやっていないし、紙の本が好きなので電子図書館には興味もなかったが、今度トライしてみたいと思う。

(委員) 県全体では、低調だという話はでているのか。

(事務局) 低調だという話は出ないが、利用促進するということになっている。

(委員) 人口の何パーセントの登録数にするというような目標値もないのか。今は、宝くじの助成金が出ているので予算の関係は心配ないが、お金を負担することになって、これだけ利用がなければ無駄になってしまう。

(事務局) 無駄にならないように改善すべきところはしていきたい。

(委員) 利用者に魅力のある電子図書館になれば、数字は自然に上がっていくと思う。

(委員) デジとしょを知らない人も多いと思う。

(委員) コロナが5類になってもゼロになることはないと思うが、今年度はコロナ以前のやり方に戻すのか。コロナ後の対策は市では何もしないのか。

(事務局) 市としては、消毒を必ずしなさいということでもなく、マスクも個人の判断でということで、国で言われていることを踏襲している。

(委員) 消毒液は置き続けるのか。

(事務局) 今のところは置いている。換気のための窓開けは引き続きしている。学習席の消毒は止めた。学習席の席数を減らしていたが、今後増やすかは様子を見ながら検討する。

(委員) おはなし会の人数制限をかけるのは、今年はやらないのか。

(事務局) 人数制限はしない。

## 8 その他

- ・上田市の図書館100周年記念事業の実施について、資料に沿って事務局から説明

(委員) 100周年記念事業の予算配分はあるのか。

(事務局) 予算は、しおりの作成費と講演会を2回実施する講師料が付いている。

## 9 閉会